

雲龍山 勝興寺 (越中国庁跡)
<国指定重要文化財>
 真宗王国越中における代表的寺院であり、本願寺を支える連枝寺院の一つ。本堂をはじめ大広間や書院など、12棟すべてが重要文化財に指定されています。
【料金】500円※工事協力金／中学生以下無料
【営業時間】9:00～16:00(入場は15:30まで)
【休日】無休
【問合せ】高岡市伏木古国府17-1
 TEL 0766-44-0037

越中国一宮 氣多神社
<国指定重要文化財>
 718年に僧の行基が創建したとも伝えられ、境内には大伴家持が雨晴海岸を詠んだ歌碑があります。
【問合せ】高岡市伏木一宮1丁目10-1
 TEL 0766-44-1836

大伴神社
 大伴家持が祀られている大伴神社。氣多神社の境内にあり、毎年10月には大伴家持御頭彰祭が行われています。

高岡商工会議所伏木支所 (旧伏木銀行)
<国登録有形文化財>
 建築は100年以上前。洋風の意匠をふんだんに取り入れた、明治・大正期のみならず町伏木を代表する建物です。
【料金】無料
【営業時間】9:00～17:00
【休日】土・日・祝日・お盆・年末年始
【問合せ】高岡市伏木湊町7-1
 TEL 0766-44-0457

伏木北前船資料館
<高岡市指定文化財>
 廻船問屋であった旧秋元家住宅の遺構です。船の出入を見張った望楼が残っており、北前船と伏木の歴史を知ることができる資料館として公開しています。
【料金】一般300円／中学生以下無料
 65歳以上240円／団体(20名以上)240円
【営業時間】9:00～16:30
【休日】火曜・年末年始
【問合せ】高岡市伏木古国府7-49
 TEL 0766-44-3999

伏木気象資料館 (旧伏木測候所、越中国守館跡)
<国登録有形文化財>
 1883年、日本初の私立測候所として設立。100年以上気象情報を記録し続けています。
【料金】一般300円／中学生以下無料
 65歳以上240円／団体(20名以上)240円
【営業時間】9:00～16:30
【休日】火曜・年末年始
【問合せ】高岡市伏木古国府12-5
 TEL 0766-44-6905

高岡市万葉歴史館
 「万葉集」を中心テーマに据えた初めての研究施設で、観光・交流機能を併せもっています。
【料金】一般300円／中学生以下無料
 65歳以上240円／団体(20名以上)240円
【営業時間】4月～10月/9:00～18:00
 11月～3月/9:00～17:00
【休日】火曜・年末年始
【問合せ】高岡市伏木一宮1-11-11
 TEL 0766-44-5511

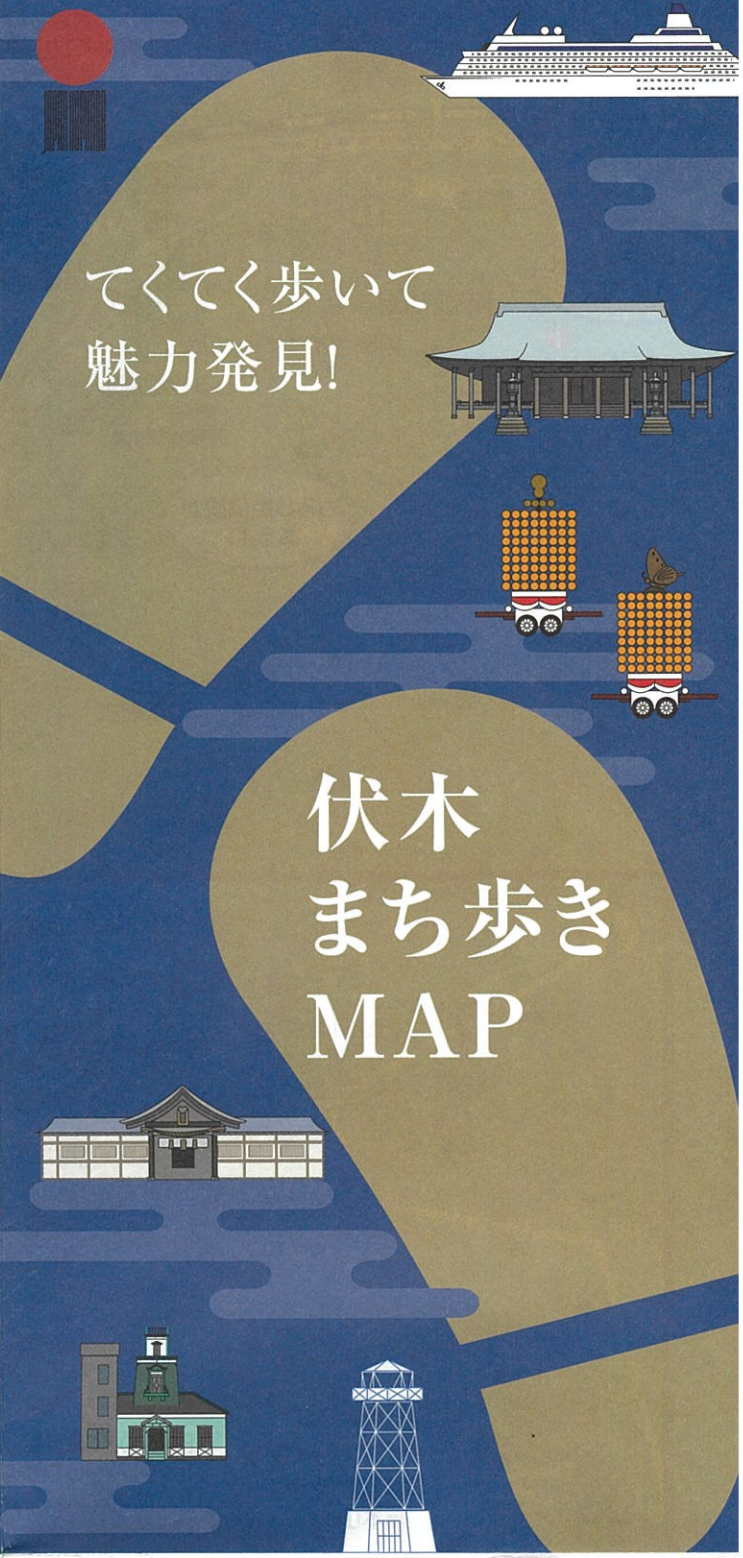
岩崎ノ鼻灯台
 2017年「恋する灯台」に認定。海と立山連峰は絶景で、桜を楽しむのもおすすめです。
【問合せ】高岡市伏木一宮1-11-11
 TEL 0766-44-5511

摩頂山 国泰寺
 臨済宗国泰寺派の総本山であり、禅道場です。大きな石を配した石庭も見どころの一つです。
【営業時間】随時(16:00頃まで)
【問合せ】高岡市太田184
 TEL 0766-44-0610

雨晴海岸・義経岩
 奇岩と白砂青松が続く景勝の地。雨晴の地名は、義経が奥州へ落ち延びる途中、岩陰でにわか雨が晴れるのを待ったことに由来しています。

道の駅 雨晴
 雨晴海岸の世界的絶景、地元産のランチやスイーツなどが楽しめる人気スポットです。
【営業時間】9:00～19:00(展望デッキは24時間開放)
【休日】無休
【問合せ】高岡市太田24番地74
 TEL 0766-53-5661

てくてくポイント

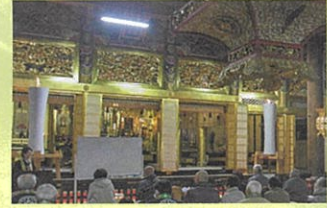


てくてく歩いて
魅力発見!

**伏木
まち歩き
MAP**

歳時記

1月14～16日
勝興寺御満座法要 (御正報恩講)
 デカローソク



勝興寺御満座法要
 高さが3メートルもある伝統の「デカローソク」に火を灯し、親鸞上人の遺徳をしのびます。

4月第1または第2日曜日
伏木観光まつり
 白象行列・名勝巡り
 茶会・各種バザー他



伏木観光まつり
 地元園児たちがお釈迦様の誕生を祝う白象行列、地域住民のステージ発表、飲食や物販の出店で賑わいます。

4月中旬
越中一宮 氣多神社春季例大祭
 ならみ師子(高岡市指定文化財)
 大伴神社 大伴家持御頭献花祭



伏木神社春季例大祭
伏木曳山祭「けんか山」
 (高岡市指定文化財)

5月14日
伏木曳山祭 前夜祭 (山倉前)

5月15日
伏木神社春季例大祭
伏木曳山祭「けんか山」
 (高岡市指定文化財)

7月下旬または8月初旬
伏木港まつり
 海上安全祈願祭
 自衛隊護衛艦寄港
 納涼花火大会・民踊町流し



伏木港まつり
 海の玄関口伏木港の発展と振興を願うお祭り。花火大会、海上自衛隊護衛艦の一般公開なども人気です。

9月中旬または下旬
伏木神社秋季大祭
 各町内獅子舞

10月初旬
大伴神社 大伴家持御頭彰祭

伏木への交通アクセス



新幹線利用
 新高岡駅 → JR城端線 → JR高岡駅 → JR氷見線 → JR伏木駅

鉄道利用
 JR高岡駅 → JR氷見線 (約13分) → JR伏木駅

バス利用
 JR高岡駅 → 加越能バス4番乗り場 (約20分) → JR伏木駅

お車利用
 能越自動車道 高岡北I.C. (約15分) → 伏木
 北陸自動車道 小杉・砺波 各I.C. (約40分) → 伏木

発行
 伏木港開港120周年記念事業実行委員会事務局 (高岡市みなと振興課)
 伏木外港クルーズ船受入協議会
 伏木校下自治会連絡協議会
 〒933-0104 高岡市伏木湊町13-1 高岡市伏木コミュニティセンター内
 監修 伏木観光推進センター
 〒933-0112 高岡市伏木古国府1-20 TEL 0766-44-1199

伏木って、どんなまち?

伏木が「万葉の里」とよばれる理由。それは奈良時代に「万葉集」を編纂したともされる大伴家持が越中国守としてこの地に赴任したことに由来します。家持は、この地で数多くの歌を詠み、その歌は『万葉集』の中に多く収められています。波が洗う奇岩と白砂青松が続く海岸、海越しに眺める雄大な立山連峰など、それは今も人々を魅了する絶景です。

現在、越中国庁跡に越中一向一揆の旗頭であった「勝興寺」があります。戦国時代後期、現在の地に移転し、江戸時代には、寺社奉行と越中浄土真宗寺院の伝達役となり栄えました。

江戸時代後期には、北前船寄港の地として発展、その後、日本海側屈指の貿易港として栄えてきた伏木。ここには美しい自然、万葉ゆかりの文化・歴史、みなと町で脈々と受け継がれる暮らしなど、さまざまな魅力が息づいています。

ゆっくりのんびり歩きながら、伏木の魅力を見つけてください。

